

那覇港臨港道路沈埋トンネルにおける維持管理の検討

阿部龍介*・金正富雄**・名嘉康行***

* (財) 沿岸技術研究センター 調査部 主任研究員

** (財) 沿岸技術研究センター 調査役

*** 内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 工務課 工務係長

概要

那覇港臨港道路(空港線)沈埋トンネルは、フルサンドイッチ構造、ベローズ継手の採用、大断面(片側3車線×2)、基盤層の起伏及び表層地盤強度のバラツキ、台風の常襲地帯における沈埋トンネルの整備であることなどの特徴がある。

本稿では沈埋トンネル本体に付属する設備類および立抗上部(建築物)の維持管理について報告する。

キーワード: 維持管理, 計測管理, 点検レベル, 管理基準値, 設備

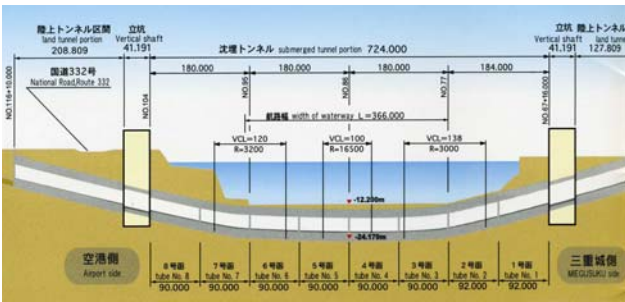


図-1 沈埋トンネル概要図

表-1 維持管理レベル

維持管理レベル	説明	部材性能・経年変化
I	初期対応のみで性能を保持(無補修) 供用期間を通して要求性能を満足する性能が維持できる	
II	予防保全的な対策で性能低下に対処 性能低下を防止する対策を損傷が軽微な段階で供用期間中実施する	
III	事後保全的な対策で性能低下に対処 損傷劣化により性能を満足できなくなった際に事後的に対策を行う	

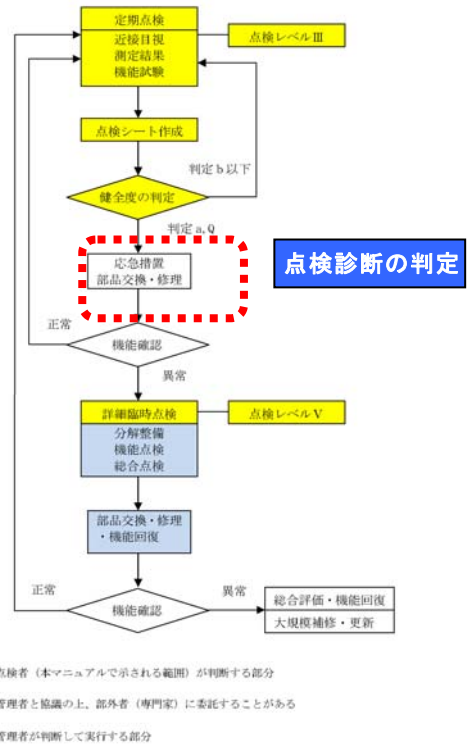


図-2 設備の定期点検の流れ

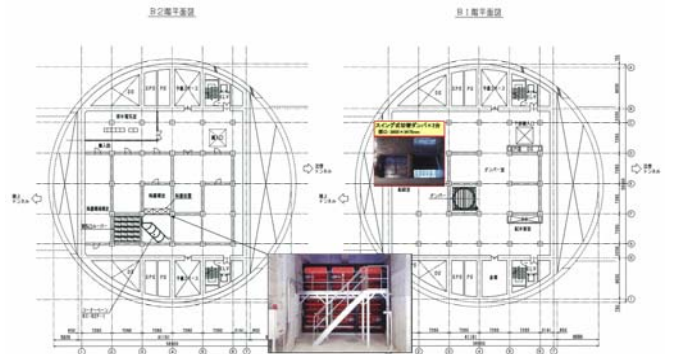


図-3 点検対象の記載例